

国際・地域連携センター ニュースレター 〈第31号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:吉用武史

はじめに

2013 カツオフォーラム in 日南

国際・地域連携センターと黒潮町が事務局を務める日本カツオ学会主催による「2013 カツオフォーラム in 日南」が、宮崎県日南市にて開催されました。カツオフォーラムは年1回開催しており、今回で4回目の開催になります。

日程:平成25年12月7日(土)

場所:南郷ハートフルセンター

主催:カツオフォーラム実行委員会、
日本カツオ学会

今回は地元の「日南カツオ・マグロ祭り」と同時開催されたこともあり、来場者は約600名と非常に多くの方々にお越しいただきました。詳細は地域連携・再生部門の頁をご覧ください。



目次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 一本釣りカツオ漁日本一の日南市でフォーラム開催

Topic2. 地域と大学をつなぐコーディネーターのための研究実践セミナー

Topic3. プラチナ社会研究会大学分科会特別セミナー～COCから始まる地域と大学の同時改革～

p4 産学官連携部門

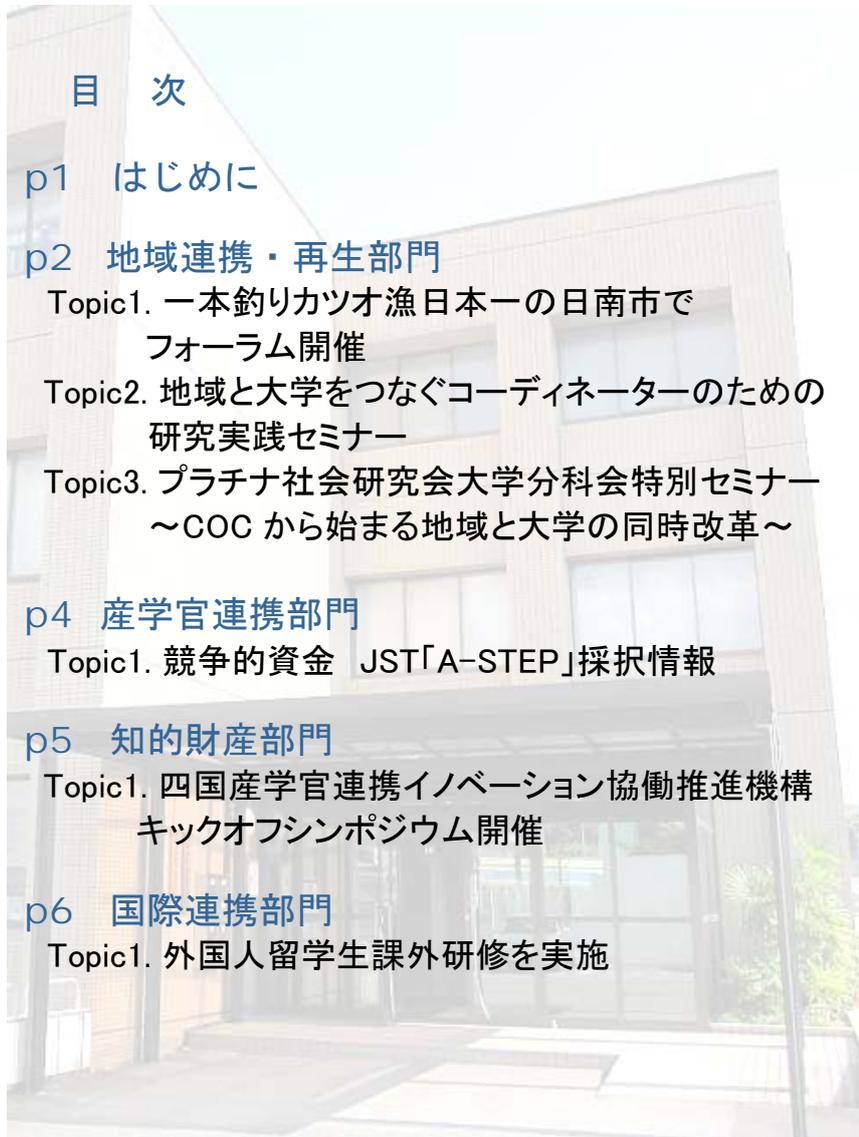
Topic1. 競争的資金 JST「A-STEP」採択情報

p5 知的財産部門

Topic1. 四国産学官連携イノベーション協働推進機構キックオフシンポジウム開催

p6 国際連携部門

Topic1. 外国人留学生課外研修を実施



Topic 1. 一本釣りカツオ漁日本一の日南市でフォーラム開催

12月7日に宮崎県日南市で開催された「2013 カツオフォーラム in 日南」では、カツオに関連する産業が盛んな全国の漁業、行政関係者や市民ら約600人参加し、カツオ漁の今後やカツオの新たな利用法が議論されました。

特別講演: 震災からの復興と水産都市としてのまちづくり
基調講演: カツオ一本釣り漁業の収益性改善に向けて

気仙沼市長
(独)水産総合研究センター
開発調査センター所長

菅原 茂氏
井上清和氏

パネルディスカッション: 資源・漁法・食から見たカツオの未来と地域経済

進行: 高知大学国際・地域連携センター長

パネリスト: 気仙沼市長

(株)FBT プランニング代表
外浦鯉船船主組合組合長
宮崎県鯉部会会長
日南商工会議所事務局長

受田浩之氏
菅原 茂氏
久塚智明氏
河野賢二氏
上牧英雄氏
黒田泰裕氏



来年度カツオフォーラム開催地は高知県中土佐町となることが発表され、大会旗が日南市から中土佐町へと引き継がれました。最後に、日南市から日南大会宣言が発表・採択され、盛会裏に幕を下ろしました。

また、翌8日(日)には、カツオ学会が採択されている国土交通省「広域的地域間共助推進事業」の一環として、「カツオ漁港のかあちゃんサミット」が同じく日南市にて開催されました。本事業は、南海地震等の被災時における地域間での共助を目指して、学会に所属する各地域の女性同士が顔の見える関係を作り、発災時に備えるものです。これまでに宮崎県日南市、沖縄県宮古島市、三重県尾鷲市、高知県黒潮町にてワークショップが開かれており、その報告とパネルディスカッションを行いました。

ディスカッションには東北大学災害科学国際研究所の川島秀一教授および料理研究家の枝元なほみ氏にも参画いただき、食を通じた関係づくりから有事の際の助け合いまで、幅広く議論されました。



Topic 2. 地域と大学をつなぐコーディネーターのための 研究実践セミナー

和歌山大学主催による「地域と大学をつなぐコーディネーターのための研究実践セミナー」が開催され、本セミナーにて先駆的事例発表として高知大学の取り組みを報告しました。

日時:11月28日(木)～29日(金)

場所:和歌山大学南紀熊野サテライト、秋津野ガルテン

【先駆的事例発表】

- ①兵庫県立大学 環境人間学部 エコ・ヒューマン地域連携センター センター長代理(専任講師)
内平 隆之 氏
「学生を通じた地域連携におけるコーディネート」
- ②高知大学 国際・地域連携センター 地域連携・再生部門長 特任講師 吉用 武史 氏
「地域課題解決と自治体連携におけるコーディネート」
- ③和歌山大学 南紀熊野サテライト 地域連携コーディネーター 古久保 綾子 氏
「地域拠点を通じた地域の人材育成と活性化
～観光・ジオツーリズムにおける地域連携・コーディネート～」

(チラシ:<http://www.life.wakayama-u.ac.jp/file/cd-net.pdf>)

Topic 3. プラチナ社会研究会大学分科会特別セミナー ～COC から始まる地域と大学の同時改革～

本会は、少子高齢化や雇用の減少などの地域課題の解決に取り組む大学と地域の連携事例を研究しており、今回の特別セミナーでは、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に採択された会員大学から、地域課題解決に向けた先進的なアプローチと地域との連携を通じた大学改革の構想について紹介されました。本学からは受田センター長が登壇しました。

日時:12月13日(金)

場所:三菱総合研究所 (東京都千代田区永田町二丁目10番3号)

<紹介された先進事例>

- ◇ To-Collaboプログラムによる全国連動型地域連携の提案 (東海大学)
- ◇ 春日井市における世代間交流による地域活性化・学生共育事業 (中部大学)
- ◇ 高知大学インサイド・コミュニティ・システム(KICS)化事業 (高知大学)
- ◇ 新しい都市型高齢社会における地域と大学の統合知の拠点 (杏林大学)

ディスカッション 「地域と大学の同時改革～地域が変わると大学も変わる～」

モデレーター:三菱総合研究所 プラチナ社会研究センター 主席研究員 チーフプロジェクト・プロデューサー
松田 智生 氏

(参考:<http://platinum.mri.co.jp/seminar/subcommittee-meeting/p34daigaku-20131213>)

Topic 1. 競争的資金 JST「A-STEP」採択情報



【起業挑戦ステージ 起業挑戦タイプ】

「イノベティブマリンテクノロジー研究者育成」事業テニユア・トラック教員である片岡 正典特任講師が、平成 25 年度 A-STEP「起業挑戦ステージ 起業挑戦タイプ」に採択されました。

「起業挑戦ステージ 起業挑戦タイプ」は、大学等のシーズに基づく、起業家と研究者が協力した大学発ベンチャー起業設立のための研究開発・起業準備を支援することを目的とし、最長 3 年間の研究開発期間、1 億 5 千万円までの研究開発費、また別途、起業支援経費として 1,500 万円までの支援を行うプログラムです。

また、今回の公募は文部科学省が平成 25 年度から開始している「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」により設定されたビジョンに沿った研究提案を行い、採択されたものです。

採択課題名

・医薬品利用を指向したリボヌクレオチド関連化合物の大量合成技術の開発

【ハイリスク挑戦タイプ 復興促進型】

研究責任者として医学部検査部(教育研究部医療学系)の山崎文靖講師、企業責任者として福島県にある藤倉航装株式会社 福原 剛船引工場長との連携により、平成 25 年度 A-STEP「ハイリスク挑戦タイプ 復興促進型」に採択されました。

「ハイリスク挑戦タイプ 復興促進型」は、JST 復興促進センター仙台事務所、盛岡事務所、郡山事務所に配置するマッチングプランナーが産学官連携支援機関の協力のもとに、東日本大震災における被災地域の企業のニーズを発掘し、これを解決できる被災地域を始めとした大学等の技術シーズとマッチングした産学共同研究を、最長平成 27 年 3 月末までの研究開発期間、最大 2 千万円程度までの研究開発費を支援するプログラムです。

採択課題名

・血圧制御型自動ショックパンツの開発

Topic 1. 四国産学官連携イノベーション共同推進機構 キックオフシンポジウム開催

四国産学官連携イノベーション共同推進機構は、四国内の国立大学5大学で創出される知を、産業界へ橋渡しする役目を担う組織として、今年10月に発足しました。本機構は、5大学の知を集積し、効率化、高度化を行うことにより、知のより一層の利活用を推進し、研究活動の活性化と地域の活性化を図るべく活動を開始しております。

本機構を活用していただくための情報発信と情報交換を目的として、キックオフシンポジウムを開催することとなりました。本シンポジウムでは、特別講演に文部科学省文部科学審議官 板東久美子氏、基調講演に統合失調症治療薬アリピプラゾール(国内製薬企業第2位である大塚ホールディングスにおける2013年3月期の売上高1兆2180億円のうち、4385億円を売上げる)の開発者の一人である大塚製薬株式会社の檜山隆司氏と、承認TLOとして技術移転事業で優れた成果を上げている株式会社東京大学TLOの代表取締役社長 山本貴史氏の2名をお招きし、ご講演頂きます。ぜひご来場ください。

日時:平成26年1月31日(金) 13:30~17:00 ※終了後(17:30~19:00)に情報交換会を行います。

会場:ホテルクレメント徳島 クレメントホール4階(徳島市寺島本町西1丁目61番地)

参加申込み期限:1月17日(金) ※下記ホームページまたはEメールにてお申込みください。

参加申込み・問合せ先:四国産学官連携イノベーション共同推進機構事務局

TEL:088-656-7592 FAX:088-656-7593 E-mail:iag-office@tokushima-u.ac.jp

(徳島大学産学官連携推進部 HP: http://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/event/topic/20140131_symposium.html)

<式次第>

13:30- 5大学代表挨拶 徳島大学長 香川 征

13:40- 特別講演 文部科学省 文部科学審議官 板東 久美子 氏

14:20- 事業説明「四国産学官連携イノベーション共同推進機構について」

四国共同副機構長(徳島大学教授) 織田 聡

14:55- 基調講演「統合失調症治療薬アリピプラゾールへの道」

大塚製薬株式会社 薬事部 檜山 隆司 氏

16:05- 基調講演「イノベーションを創出する産学連携」

株式会社東京大学TLO 代表取締役社長 山本 貴史 氏

17:05- 閉会の挨拶 四国共同機構長(徳島大学理事) 野地 澄晴

17:30- 情報交換会 クレメントホール・4階

文部科学省 国立大学改革強化推進補助金事業

四国産学官連携イノベーション共同推進機構 キックオフシンポジウム

【開催の目的】
四国産学官連携イノベーション共同推進機構は、四国内の国立大学5大学で創出される知を、産業界へ橋渡しする役目を担う組織として、今年10月に発足いたしました。
本機構は、5大学の知を集積し、効率化、高度化を行うことにより、利用しやすく機能的な産学官連携部門体制を構築すべく活動を開始しております。
本機構を活用していただくための情報発信と情報交換を目的として、キックオフシンポジウムを開催いたします。

企業ニーズ
・技術相談仲介
・技術のマーケティング活動
・特許のライセンス

シーズ
四国産学官連携イノベーション共同推進機構

産学官連携部門の協働による連携

香川大学 徳島大学
愛媛大学 高知大学 専門教育大学

日時:平成26年1月31日(金) 13時30分~17時15分
場所:ホテルクレメント徳島 クレメントホール・4階(JR徳島駅西隣)

Topic 1. 外国人留学生課外研修を実施

11月9日(土)～10日(日)に平成25年度入学の外国人留学生を対象に愛媛県大洲市への1泊2日の課外研修を行いました。この研修は、外国人留学生が日本の歴史や文化を体験し、地域への理解を深めるとともに、留学生間の親睦・交流を図ることを目的としており、留学生43名、日本人学生ボランティア2名、引率の教職員10名が参加しました。

1日目の研修では、愛媛県大洲市の風の博物館で、風車の模型や風に関する展示を見学し、風洞実験機による風速15mの世界を体験しました。また、併設の歌麿館では、色彩の鮮やかな浮世絵や繊細で巧みな版画に魅了されました。

宿泊先の国立大洲青少年交流の家では、普段交流が比較的少なく距離のあるキャンパスの学生同士のほか教職員と寝食を共にし、グループワークでの仲間づくりなどを通して、交流を深めることができました。また、日本人学生が企画・進行を担当した学生主体の交流会も行われました。

2日目の研修では、明治時代の匠が残した臥龍山荘を見学し、茅葺屋根の農村風建物の部屋で細やかな細工と荒れた風情に日本のわびさびの文化を体感。また、自然と人工の調和を取り入れた石垣の石積みや日本庭園の借景美などを堪能し、ゆっくりとした時間を過ごしました。

参加した学生からは、「日本の文化や伝統に触れることができた。」、「グループ活動で仲間を作ることができた。」などの感想があり、留学生や日本人学生にとって有意義なものとなりました。

